

市民の誇り(シビックプライド)の拠点

- ・県民、国民が誇る植物園
- ・世界中の人々に愛される憩いの場

(仮称)ファミリー園

- **機能**
 - ・子どもから大人まで植物に囲まれて自由に過ごすことができる、五台山からの美しい眺望が見渡せる憩いの広場。
- ◎ **期待される効果**
 - ・家族(子育て世代)や若者の来園者増
 - ・遠足・修学旅行の増
 - ・野外ステージ(500人収容)イベントによる来園者増
 - ・観光客の増(四季折々の多彩なフラワーイベントの開催)
- ◎ **検討委員会で出された意見**
 - 観光型フラワーパークとの差別化
 - 植物の知識のない来園者にも楽しんでいただける遊びの要素を取り入れる
 - 洗練された、格好良い、おしゃれ(牧野植物園のイメージ)
 - 子どもの感性が磨かれる圧倒的に美しい園地
 - 子供がワクワクしてキラキラできる園地・遊具の充実
 - 思いっきり走り回れる広場
 - いろんなことをクリエイティブに行える場
 - 五台山展望台と合わせた夜のデートコース
 - 起伏があると子どもや高齢者が大変

【検討の主なポイント】
・具体的なゾーン配置とそれぞれの機能の持たせ方

お宝展示機能

- **機能**
 - ・牧野博士が作製した植物図や植物標本などの貴重なコレクションをダイナミックに見ていただく場
 - ・植物図の植物(生命)の神秘に迫る芸術的価値を世界に発信し、多くの方々に、本物に出会える喜びや感動を与えられる場
- ＜収蔵品＞ 牧野博士の植物図：約1,700点
牧野博士の植物標本：約5,500点 他
- ◎ **検討委員会で出された意見**
 - 博物館機能をもつ植物園の強みを生かす
 - 貴重な書籍等を多くの方にしっかりと見せる
 - 貴重な古書を見せる(インバウンド対策)
 - 子どもたちが本物に出会える場として期待する

【検討の主なポイント】
・お宝の見せ方(展示、解説、PR等)
・必要とされる展示スペースの確保
・お宝展示機会の拡大に向けた展示機能の強化

知の拠点

- ・内知と外知が響き合うオープンイノベーション
- ・未知の価値を創出し、世界に発信する研究型植物園

研究機能

- **機能1 オープンラボラトリー**
 - ・国内外の研究者と共同研究や交流ができる場
 - ・学会等のコンベンションが開催できる場
- ◎ **検討委員会で出された意見**
 - 子供たちが研究へのあこがれを抱く場・夢が膨らむ場(研究室や標本庫で働く人の姿が見学できる。)(キッズニアのような職業体験等)
 - 漢方をテーマとしたイベントの開催(インバウンド対策)
 - 研究資料は広く使ってもらうことが使命
 - 牧野植物大学をつくるくらいの志をもったらどうか
- **機能2 研究成果の見える化・展示**
 - ・研究活動を来園者に公開する場
 - ・世界的に貴重な植物、植物標本、生薬標本などが見学できる場
 - ・子どもたちが研究体験や研究者と交流できる場
 - ・研究成果の展示や発表をする場
- ◎ **検討委員会で出された意見**
 - 牧野植物園が誇るミヤンマー、生薬等の牧野植物園の先進・独自性の高い研究成果の公開を望む。
 - イノベーション機能の投資とリターンを提示していかなければならない。

【検討の主なポイント】
・植物分類研究と有用植物研究が一体となった牧野植物園の強みを生かしたオープンイノベーションの推進
・第二、第三の牧野博士を育てる研究型植物園としての役割

その他の磨き上げ

- ・夜の植物園の拡充(H30年春～) ・園内ガイドの定期開催(H30年春～) ・プロモーション戦略の策定→強化(H29年度～) ・インバウンド対策 ・牧野ブランドの商品化 等

【検討の主なポイント】
・国内外から幅広い層の多くの方々が集う植物園に向けた魅力向上策

宝の人材を育成する拠点

- ・子どもたちが自然に親しみ、探究心を育む教育の場
- ・第二、第三の牧野博士を育てる世界唯一の植物園

(仮称)スタディ園

- **機能**
 - ・子どもから大人までが植物と触れ合いながら学んで遊べる広場
 - ・葉をちぎったり、臭いを嗅いだり植物に自由に触れる体験ゾーン
 - ・植物の有用性を学ぶゾーン(有用樹木、お茶、ハーブ、牧野野菜など)
- ◎ **期待される効果**
 - ・遠足・修学旅行の増
 - ・自らが考え学ぶ子どもたちの増
 - ・観光客の増(ターゲットに合わせた体験学習コースの造成等)
- ◎ **検討委員会で出された意見**
 - 子供が自ら気づき、調べ、葉をちぎったり、食べたり、体感できる場
 - 他の展示等の機能との組み合わせにより価値がさらに高まる
 - 植物や自然について学べる市民カレッジの開講
 - 牧野博士が学んだ人材輩出の拠点「名教館」の再現
 - 雨天時にも使用可能な屋根のある施設

【検討の主なポイント】
・具体的なゾーン配置とそれぞれの機能の持たせ方

ヴァーチャルリアリティ・8Kシアター

- **機能**
 - ・ヴァーチャルリアリティの圧倒的な臨場感と没入感で、牧野博士が作製した標本や植物図の世界をバーチャル体験し、植物の神秘に迫ることができる場
 - ・驚異的な技で描かれた牧野博士の植物図を高精細・臨場感あふれる映像でも体感できる場
- ◎ **検討委員会で出された意見**
 - お宝、植物、標本の新しい見せ方、魅力・価値の最大化

【検討の主なポイント】
・観光、研究、教育の幅広い活用策

(既存)展示館(常設展示室・企画展示室他)

- **機能**
 - ・常設展示室→牧野博士の生涯の展示、体験型展示
 - ・企画展示室→各種企画展の開催(H28:植物図展他)
 - ・中庭→牧野博士ゆかりの植物約250種を植栽
- ◎ **検討委員会で出された意見**
 - 「牧野博士の生涯」は子供には難しい

【検討の主なポイント】
・オープンから18年経過。スタディ園とのつながりを持たせる等磨き上げに合わせた見直しや展示機能の強化が必要